



# 小松崎ふみよし

## 政策 ジャーナル

# Journal

Vol.17

THE SPRING 2010 ISSUE of Koratsuzaki, Fumiyoshi



皆様の広い意見を募集しております。

発行 平成 22年 3月 22日

### 平成22年度予算特別号

# 行動派宣言



「あいさつ」

今回の議会で決定された予算についてお知らせいたします。歳入面では景気低迷が長引き、市税収入が大幅に減り、過去最大の減収が見込まれているなか、各種基金などの臨時財源も僅かとなり、一方歳出面では、子どもや高齢者、自治会に対する予算がカットされ、民主党政権がマニフェストに載せずに突然求めてきた、子ども手当での地方負担、緊急性のない会議の開催や、必要以上に費用を掛けて行う市営住宅の建替え。また、外部評価による事務事業の見直しは、パフォーマンスだけでなく中途半端な状態で終わり、本質にまで踏み込めなかった現状でした。安易に職員、議員の人件費の削減に手を付けても間にあわなかった。もつと緊急性のない事業を削減し、行財政改革を一層推進し、必要な予算とそうでないものを今まで以上に選別しなければならなかったのではないかと考えました。

そこで、緊急性のない事業の中止を求め、子どもや高齢者、そして地域の基本組織である自治会に対する真に必要な事業に予算を配分することを求め、組み替え予算の再提出を求めました。

## 1 組み替えを求めた内容

### 1 中止、延期、若しくは削減する事業

- A 緊急性が低く、延期による影響が軽微な事業**
- (ア) 自治基本条例関係経費 (52万円)
  - (イ) 「科学の都」推進 (80万円)
  - (ウ) ホームページのリニューアル (56万円)
  - (エ) 広報・広聴機能の強化 (50万円)
  - (オ) 成年後見支援センター（仮称）設置 (2,250万円)
  - (カ) 新ハートモニープランの見直し (200万円)
  - (キ) 都市計画道路の見直し (450万円)
  - (ク) 緑と水辺の基本計画の見直し (390万円)

- B 千葉でも出来る、必要性が低いと思われる出張経費**
- (ア) 地元球団のキャンプ地を現地で激励する経費 (81万円)
  - (イ) 国際経済交流のヒューストン市への渡航経費 (156万円)

### 2 必要性はあるが、内容の再検討を求める事業

- (ア) 市営住宅建替の宮野木町第1団地第二期は、地元の反対もあり、事業内容の見直しと規模の縮小。 (1億5,150万円)
- (イ) 高齢者福祉施設整備費等助成の社会福祉法人に疑義が残る特別養護老人ホーム「ゆうゆう苑（仮称）」 (9,942万円)

### 3 類似事業の統合

- (ア) 市政功労者表彰と技能功労者等表彰を統合し、より多くの方に周知するとともに、事業の効率化を図る。
- (イ) 職員研修制度については、リワーク研修と統合し、新規採用後の育成重点期間の研修と最低限のリワーク研修に努める。

### 4 自主財源を確保する

- (ア) 千葉マリスタジアム人工芝張替に関しては、ネーミングライツや市民からの寄附を募り、償還財源に充当する。
- (イ) 新たな広告収入を確保する。
- (ウ) 自動販売機の目的外使用料などを適正化する。

### 5 県単独補助金の一般市並みの支出 (14億4,320万円)

Challenge For Advance



## 2 削減分を以下の地域・教育に資する事業に充当する事を要望

- ア** 自治会行政事務委託料減額の中止
- イ** 敬老会等経費の一部助成減額の中止
- ウ** はり・きゅう・マッサージ施設利用助成見直しの中止
- エ** シルバー健康入浴事業縮小の中止
- オ** 私立幼稚園就園奨励費補助減額の中止
- カ** 資源回収促進奨励補助金減額の中止



# 緊急のお知らせ

千葉市議会議員 小松崎ふみよし

今回の予算が与える影響についてお知らせ致します。市長が行政事務委託料の100円減額案を提案しましたが、千葉市町内自治会連絡協議会や各自治会長さんから減額に反対する強い要望を頂きました。私達は現行の金額の維持を強く求めました。しかし民主党や市民ネットに反対され、減額案が決定される所でした。それでも地域コミュニティの基礎である自治会の予算を削ることはできないと主張を崩さず、その結果、何とか修正案をもって、現行どおりの**400円を維持し、今回の事務委託料確保する事ができました。**

また他にも資源回収（集団回収）の奨励補助金と共に、敬老会の開催補助金の8000万円にも及ぶ大幅削減が盛り込まれました。

我々も緊縮財政になることは理解出来ます。しかし、敬老会は従来贅沢に行われていていませんでした、自治会館・公民館でお弁当がほとんどです、お誘いすることによって高齢者の所在確認もできますし、出席することによって会話もなされ、高齢者のコミュニティづくりには欠かせない行事であり、阪神大震災においても、地域のコミュニティにより、安否確認が進み、結果として多くの方々が救われたことを考えれば、敬老会の開催が危ぶまれることは、災害弱者の把握に努める千葉市の政策とも矛盾します。同郷・共通の趣味・以前の仕事等を知ることにより、新たな生きがいやお付き合いが始まることも期待できます。また多くの老人会の会長さんからの要望もあり、敬老会の開催補助金の大幅削減にも強く反対をしたところです。ところで、今回の削減案がどのくらい影響を与えるのか、総額でお話しても分かりにくいと思いますので、平均的な自治会で行われている、具体的な予算に当てはめてみたのが以下の表です。

## 実在する稲毛区の450世帯の場合の自治会への今回の予算への影響

	【昨年通り・ 自民組み換え案】 対象者120人（70歳以上）	市長案（民主・ネット賛成） 対象者70人（75歳以上）		今回の成立案 （自民党他2会派案） 対象者70人（75歳以上）	
	事務委託料	18万円 （400円×人数）	13万5千円 （300円×人数）	4万5千円	18万円 （400円×人数）
敬老会補助	9万9600円 （830円×人数）	3万5千円 （500円×人数）	6万4500円	4万5500円 （650円×人数）	5万4100円
総計	27万9600円	17万円	10万9600円	22万5500円	5万4100円

市長案だと敬老会補助金が約3分の1の額になります。しかもこの自治会では従来でも、例年、敬老会の開催費用の不足分約8万円補充していたそうです。更に自治会への事務委託料を4万5千円も減らされては、敬老会を大幅縮小せざるを得ない懸念もありました。今回成立した修正案（自民他2会派案）では敬老会補助金も約2分の1の額になり、事務委託料も削減されないことから、影響額は約2割程度の削減で済むこととなります。私も3会派も今回の修正で満足してはおりませんが、今後も自治会活動の活性化に向けて市当局に働きかけ今年の敬老会にも一定の配慮を求めると共に、別のムダな予算を削減し、来年度は敬老会を普通に開催できる予算編成を求めていく所存です。



## ▶ 小松崎ふみよしプロフィール

昭和45年（1970）4月30日生まれ	法政大学法学部法律学科卒業 （現在校友会千葉中央支部常任幹事）	千葉市第3地区町内自治会連絡協議会顧問（山王中学校区）
稲毛幼稚園卒園（現在 評議員）	衆議院議員うすい日出男秘書10年	千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市立山王小学校卒業	公設第一秘書にて退職	稲毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市立槽橋中学校卒業	千葉市議会議員（稲毛区選出）当選	山王FC会長、総武リーグ顧問
千葉県立千葉北高等学校卒業 （現在 同窓会副会長）	環境建設副委員長 自民党千葉支連青年部長・稲毛区支部長	千葉市廃棄物減量等推進審議会委員 千葉市都市計画審議会委員等

## 小松崎ふみよし 事務所

お問い合わせ・ご意見をお待ちしております

〒263-0002  
千葉市稲毛区山王町112-1  
電話：043-424-0001 FAX：043-421-6667  
E-mail: [fumiyosh@joy.hi-ho.ne.jp](mailto:fumiyosh@joy.hi-ho.ne.jp)

事務所開設時間 【月・水】  
10:00-12:00 13:00-16:00  
（不在時は小松崎本人の携帯に転送されます。）